



GLOBALG.A.P.



食品安全
ファースト

生産物安全保証基準

GLOBALG.A.P.の新基準、「生産物安全保証基準V5」は、食品安全の分野に特化して強化したいという生産者と顧客の要求に対応するものであり、GLOBALG.A.P.統合農場保証基準（IFA）から食品安全の要素を抜粋したものです。

GLOBALG.A.P.生産物安全保証基準は、農作物を土に植える前（入手元と繁殖用資材の管理点）から梱包までの農業生産プロセス全体の食品安全に関する認証を対象とするものです。

生産者にとっての、生産物安全保証基準のメリットは以下の通りです：

1. 生産物安全保証基準は、農場において、国や地域が定める食品安全を保証するスキームの開発や適用を助け、そのことを通して農業生産における食品安全のリスクを低減します。このスキームは、HACCP（危害分析重要管理点）に基づく、明確なリスク評価と管理のための基準に則ったものであり、消費者とフードサプライチェーンの役に立つものです。
2. 審査員の力量、検証のステイタス、報告および適合基準の解釈のレベルをそろえることで、農場保証スキームの完全性を強化します。

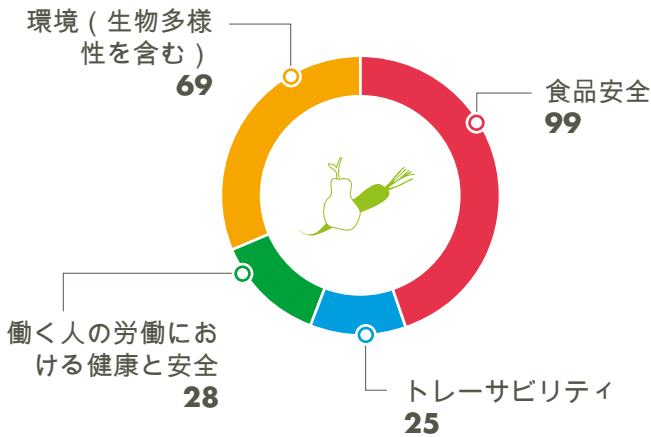
生産者は、他の管理点も徐々に整備して、将来的にはGLOBALG.A.P.のIFA認証を取得できるところまでレベルアップすることもできます。



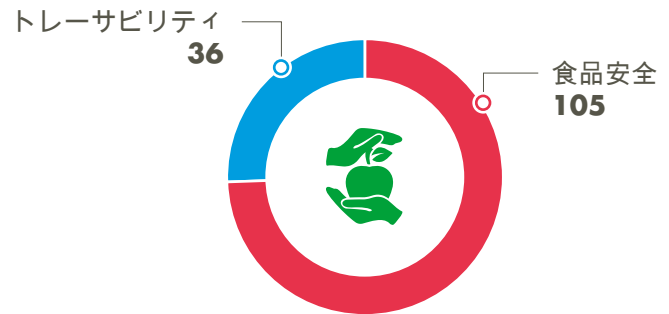
生産物安全保証基準とIFA基準の主な相違点

生産物安全保証基準の管理点と適合基準は、本質的にはIFA基準を抜粋したもので、農業生産プロセスにおける食品安全に関する要素で構成されています。したがって、生産物安全保証基準はIFAに取って代わるものではありません。しかし、最終的にIFA認証の取得に向けての仕組みやシステムを構築するための出発点になります。

IFA基準 野菜&果物 管理点合計：221



生産物安全保証基準 管理点合計：141



統合農場保証基準

GLOBALG.A.P.は、農業生産プロセスに関する、ISO/IEC 17065に基づく独立した第三者認証制度のための、基準と枠組みを維持管理しています。この認証制度は、GLOBALG.A.P.が定める基準文書に示された農業生産工程管理 (GAP) に照らして、一定の水準に達している農業生産物のみが認証されることを保証します。農場における生産プロセスの認証を受けることで、GLOBALG.A.P.の基準文書が定める農業生産工程管理 (GAP) への適合が保証されます。

GLOBALG.A.P.青果物IFA基準はGFSIベンチマーキング要求事項に照らして評価され、スコープBI - 農産物の栽培、およびスコープD - 農産物の取扱い前プロセスにおけるGFSI認証を取得しています。

IFAは、農業、水産養殖、畜産、園芸作物の農業生産工程管理をカバーしています。この基準は、幅広いステークホルダーとの協議を経て改訂され、IFAのバージョン5として2015年7月に発行されました。詳細については以下をご覧ください。www.globalgap.org/ifa



GLOBALG.A.P.のアドオン

GLOBALG.A.P.は、GLOBALG.A.P.認証を強化することを目的として一連のアドオンを提供しています。各アドオンは、農産物生産プロセスとサプライチェーンにおける、それぞれ特定の側面を対象とします。具体的には、「GRASP (GLOBALG.A.P.社会的側面リスク評価)」、畜産生産者のための「動物福祉に関するアドオン」、「SPRING (灌漑と地下水の利用に関する持続可能なプログラム)」、水産養殖と畜産のためのアドオン「NON-GM/Ohne Gen Technik」等があります。

GLOBALG.A.P.アドオンはまた、認証制度開発に関するGLOBALG.A.P.の優れた専門知識に基づき、各企業特有の課題を解決する方法を提供するプログラムを会員向けに提供しています。詳細については以下をご覧ください。www.globalgap.org/addon

